

# STORY

[ストーリイ]

8 August  
2020

全編・40代ライターの編集  
いろいろと紹介しましたが  
結局、私はコレが良か

あの人「いつの間にか」  
キレイになった理由を総力取材!

東京・関西の最新クチコミ

みんなの  
おこもり美容!



AROUND HOMEから  
その先まで。  
NEWSなアイテム  
作りました!

デジタル通販マガジン  
「セレSTORY」  
第111弾

郵便局の商品も、ご注意ください

40代には難しい  
思い込みはこれを読むと解消

うまくやれ

Tシャツは5歳若返

実例・「白とベーシック  
夏のワントーンコーデ、私の

「上盛り」vs.「下盛り」  
ワンツーコーデ頂上

大きな時代の変わり目に。本当に必要  
今から買い足すべき服が見えて

これからは

「クローゼットDiet」で  
大切な服とだけ生きてゆく!



# Challenge

## 自分の判断で人生は変えられると 伝えたくて、不登校後の選択肢は 本人に決めさせました

早川みどりさん  
(心理カウンセラー・51歳)

「双子の長女と次男が不登校になりました。不登校についてはカウンセラーになる際、学んだものの、実際に当事者となると知識と現実の間にズレがあると感じました」と語る早川みどりさん。「小学3年のとき、突然笑顔が消え、体が拒絶して動けない娘を見て、不登校は自衛手段だということがわかりました」。

相談するつもりで行つた学校は保身に回り、「原因は家庭問題にある」と言われているように感じたそう。当初ご主人は、「学校に行かせたほうがいい」という考えでしたが、「親が同じ方向を向いたほうがいい」と感じた早川さんは不登校に関する講演にご主人を連れて行きました。「学校側は学校に来ることがゴールと考えているけど、最悪の場合、死に繋がることもありうる。戦場にあなたは行かせるんですか?」と言われたことが心に響きました。不登校の意思表示をしてくれてありました。うちはうちと思えました」とご主人。

その後、北九州市の「のびのびフレンドリースクール」を知り、過疎地域にある小学校への転校を視野に入れ、一家で下見に行きました。「帰り際、お父ちゃんとお母ちゃんは今のお学校を見学できません。あなたたちは学校を見学してどう思った?」と聞きました。「何か楽しそう」という娘の言葉を聞き、転校させることを決断しました。

◎小学校卒業まで楽しく通った娘さんでしたが、同時に年子の息子さんが中学生入学のタイミングで再び不登校になってしまった。「息子の場合、理由はわかりませんでしたが、人間として最も辛い無視だったのではないかと思います。『行きたくない』と言つたからと、ただ『いいよ』では、子どもはそれに乗っかります。だから中学生のときには、『あなたはどうしたい?』『それを選んだらどうなる?』『自分で決めなさい』という声掛けをしました。娘さんが所属した劇団の公演後に、高校生のときには徒步で長崎に向かう旅をし、人に心を開けなかった息子が、助けを求める、受け入れられたことを喜んでいたのが嬉しかったです」。

「双子の長女と次男が不登校になりました。不登校についてはカウンセラーになる際、学んだものの、実際に当事者となると知識と現実の間にズレがあると感じました」と語る早川みどりさん。「小学3年のとき、突然笑顔が消え、体が拒絶して動けない娘を見て、不登校は自衛手段だということがわかりました」。

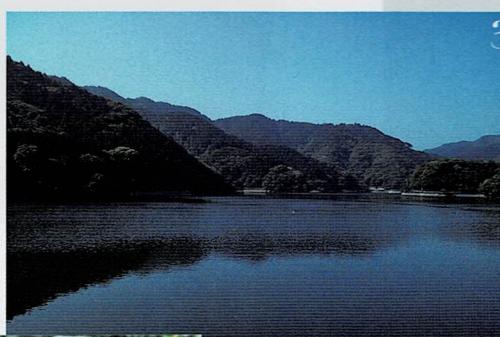
その後、北九州市の「のびのびフレンドリースクール」を知り、過疎地域にある小学校への転校を視野に入れ、一家で下見に行きました。「帰り際、お父ちゃんとお母ちゃんは今のお学校を見学できません。あなたたちは学校を見学してどう思った?」と聞きました。「何か楽しそう」という娘の言葉を聞き、転校させることを決断しました。

息子さんは、本来小倉に落とされるはずだった原爆が長崎に落とされたことを本で知り、何度も原爆の追悼式に出席したそう。「代表の挨拶に選ばれ

るほど、したいことは熱意を持って行動していました。高校では社会と繋がるという意味でバイトを勧めました。稼ぐ手段を知り、本人に生きる力をつけてもらいたかったですね。娘は不登校のときに観た演劇が生き甲斐です。と動画を観ていたのですが、今は劇団の養成所に入りました。そして息子はライターになりたいという目標ができ、今は元気に楽しく過ごしています。やりたいと思うことを見つけてくれたことが本当に嬉しいです」。



1. 「休ませると甘やかすのは違う。逆に逃がさず厳しくしました」とご主人。2. 息子さんは「精神的に荒れていたとき、そっとしてくれたのは有難かったです」。



3. 転校した小学校近くのダム湖。ご主人が毎日送り迎えをしたそう。  
4. 転校した小学校の生徒数は全体で20人前後。「校長先生が娘の生き生きとした表情を撮ってくれました」。



5. 娘さんが所属した劇団の公演後に、高校生のときには徒步で長崎に向かう旅をし、人に心を開けなかった息子が、助けを求める、受け入れられたことを喜んでいたのが嬉しかったです」。

